

ツマベニチヨウだより (第13号)

今年になって初めての「ツマベニチヨウだより」をお届けします。昨年と同様に節目、節目にお届けしますのでよろしくお願ひします。

◎ 南郷町の大島からギョボクの挿穂を沢山貰って帰りました。

カルチャーセンターの「山の花旅」で4月15日に大島に行った際に、嶋田区長様からお許しを得てギョボクの挿穂を一抱えほど貰って帰りました。早速翌日に挿し木しましたところ130本程ありましたので、今年は一度に済ますことが出来ました。

◎ サンメッセ日南から挿し穂を貰って帰りました。

4月21日にハイビスカスの挿し穂を貰い行き、翌日50本を程挿し木しました。

◎ JR日南線の伊比井駅ほか2駅を現地調査しました。

ギョボクやランタナ等を植えさせて貰うべく伊比井、小内海、内海の各駅が適当であるかどうか4月24日に調査しました。結果は適地があり何本も植樹可能と分かりました。

◎ 潮小学校にギョボクの植え増しをお願いしました。

潮小学校には昨年ギョボクとランタナ各2本を植えて戴きましたが、同小学校はツマベニチヨウの北上にとって極めて重要な地点と考え、4月26日に新任の佐藤良次校長先生にその旨を手紙でお願いしました。折り返し校長先生から快諾のお電話を戴きました。

◎ 宮浦の「木の会」よりギョボクの定植をする旨のご連絡がありました。

ボランティア団体の「木の会」の谷川伸夫様より、以前に貰っていたギョボク等の苗を適地に定植するとのお知らせがありましたので、ランタナを含めた丈夫な苗を改めてお届けすると約束しました。

◎ JR日南鉄道事業部より植栽の許可を戴きました。

伊比井駅ほかにギョボク等を植栽する件について、JR日南鉄道事業部の田口敏彦工務課長様より一緒に現地調査をしようのご連絡があり、5月9日に同道させて貰いました。各駅とも植える場所が多く、趣旨にも賛成して下さい「思う存分植えて下さい」とご承知戴きました。

◎ 今年初めての苗の植えつけをしました。

5月12日に鵜戸神宮に近い地区から順次下記のとおり、ギョボク、ランタナ、ヒメノウゼンカズラ等の苗を植えまたは贈呈しました。

宮浦地区…木の会へギョボク15本、ランタナ10本、ブツレア2本

富土地区…潮小学校へギョボク12本、ヒメノウゼンカズラ10本、ブツレア2本

伊比井地区…伊比井駅へギョボク5本、ランタナ10本、ブツレア2本

(木の会では6月になって全会員で植えて下さるそうです。潮小学校では校長先生ほかのご助勢を戴き有り難うございました)

◎ 目下下記の苗が順調に生育中です。

ギョボク…40本 ランタナ…90本 ヒメノウゼンカズラ…100本

この他各種の挿し木がそろそろ根付き始めたようです。